



紅葉の湯ノ湖と男体山

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第65期第2四半期（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）における事業の概況につきまして、ご報告いたします。

### ●事業の概況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで景気は緩やかな回復が続いておりますが、西日本豪雨や台風・地震等の相次ぐ自然災害による物流と生産の滞り等の影響も懸念されております。一方、世界経済は米中貿易摩擦の激化により、先行きに不透明感が増しております。

当社グループの属する卸売業界及び建設業界における業況は、東京オリンピック・パラリンピックに向けたインフラ整備、大都市圏における再開発事業が大きな需要の盛り上がりとなっております。また、栃木県内においても、国民体育大会へ向けた総合スポーツゾーンの整備、公共建物の建て替え需要、大型工場の進出等が景気押し上げの要因となり、受注環境は良好な状況となっております。一方、深刻化する技術者や労働力不足、受注価格競争、物流コストの増加など、取りまく環境は厳しい状況が続くものと思われれます。

このような業況のもと、当社グループは、引き続き首都圏を中心にエリア拡大、環境ビジネス、ソリューション営業の強化に向けた取り組みを推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結成績は、売上高334億0百万円（前年同四半期比0.8%減）、経常利益12億81百万円（前年同四半期比9.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、7億29百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### （電設資材）

空調機器は猛暑の影響により順調に推移しましたが、関係会社の売上や通信工事が伸び悩み、前期を下回る売上高となりました。この結果、売上高は156億48百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

#### （産業システム）

機器制御は、機械装置、医療機器、半導体関連企業を中心に主力製品の販売や設備更新需要が堅調に推移し、前期並みの売上高となりました。

情報システムは、文教向けICT機器更新案件が順調に推移し、前期を上回る売上高となりました。

設備システムは、水戸地区及び東北地区の大型案件が順調に伸び、前期を上回る売上高となりました。

この結果、売上高は63億48百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。（施工）

建設資材工事は、栃木県内の大型工事案件や首都圏が好調に推移し前期を上回る売上高となりました。総合建築工事は、大型建築案件の着工遅れの影響があり前期を下回る売上高となりました。コンクリート圧送工事は、受注が順調に推移し前期を上回る売上高となりました。

この結果、売上高は85億17百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。（土木建設機械）

土木建設機械販売は、新車販売が昨年度の排ガス規制に伴う駆け込み需要の反動減の影響が大きく、前期を下回る売上高となりました。レンタルは、依然として価格競争が激しく前期を下回る売上高となりました。メンテナンスサービスは業務改善の取り組みが奏功し前期を上回る売上高となりました。この結果、売上高は26億45百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。（再生可能エネルギー発電）

栃木県内4ヶ所のメガソーラー発電施設、栃木県屋根貸し事業所の発電施設及び支店・営業所の発電施設の売電収入は天候の影響もありましたが、ほぼ前年並みの発電量となりました。

この結果、売上高は2億40百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

# 平成31年3月期 第2四半期株主通信

（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

 藤井産業株式会社

**JASDAQ**

CODE : 9906

# 財務諸表等

## ■ 貸借対照表の要旨 (連結)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成29年9月30日現在)	当第2四半期 (平成30年9月30日現在)	前 期 (平成30年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	32,290	34,414	35,914
固定資産	10,605	10,642	10,719
有形固定資産	6,286	6,285	6,308
無形固定資産	59	77	80
投資その他の資産	4,259	4,279	4,330
資産合計	42,896	45,057	46,633
<b>負債の部</b>			
流動負債	18,713	19,153	21,240
固定負債	1,581	1,741	1,637
負債合計	20,294	20,894	22,877
<b>純資産の部</b>			
株主資本	20,248	21,744	21,294
その他の包括利益累計額	825	782	844
非支配株主持分	1,527	1,635	1,617
純資産合計	22,601	24,162	23,755
負債・純資産合計	42,896	45,057	46,633

※当期より「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を適用したため、前第2四半期及び前期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

## ■ 損益計算書の要旨 (連結)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	当第2四半期 (平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)	前 期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
売上高	33,675	33,400	71,850
売上原価	28,428	28,199	60,943
売上総利益	5,247	5,200	10,906
販売費及び一般管理費	4,106	4,185	8,247
営業利益	1,140	1,015	2,659
営業外収益	311	307	564
営業外費用	31	40	68
経常利益	1,420	1,281	3,155
税金等調整前 四半期純利益	1,420	1,281	3,155
法人税、住民税及び事業税	※ 517	490	998
法人税等調整額	※ —	—	17
四半期純利益	902	791	2,138
非支配株主に帰属する 四半期純利益	62	62	124
親会社株主に帰属する四半期純利益	840	729	2,014

※法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

## ■ 貸借対照表の要旨 (単体)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成29年9月30日現在)	当第2四半期 (平成30年9月30日現在)	前 期 (平成30年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	26,334	28,508	30,070
固定資産	7,384	7,193	7,269
有形固定資産	4,344	4,216	4,260
無形固定資産	48	66	69
投資その他の資産	2,991	2,910	2,939
資産合計	33,718	35,701	37,340
<b>負債の部</b>			
流動負債	15,476	16,175	18,245
固定負債	1,131	1,179	1,139
負債合計	16,607	17,354	19,385
<b>純資産の部</b>			
株主資本	16,613	17,917	17,477
評価・換算差額等	498	428	477
純資産合計	17,111	18,346	17,955
負債・純資産合計	33,718	35,701	37,340

※当期より「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を適用したため、前第2四半期及び前期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

## ■ 損益計算書の要旨 (単体)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	当第2四半期 (平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)	前 期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
売上高	26,838	27,379	58,738
売上原価	22,800	23,323	50,212
売上総利益	4,038	4,056	8,525
販売費及び一般管理費	3,233	3,287	6,534
営業利益	804	768	1,991
営業外収益	330	350	534
営業外費用	24	33	50
経常利益	1,110	1,086	2,476
税引前四半期純利益	1,110	1,086	2,476
法人税、住民税及び事業税	※ 370	366	727
法人税等調整額	※ —	—	18
四半期純利益	739	719	1,731

※法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

# 業績の推移 (連結)

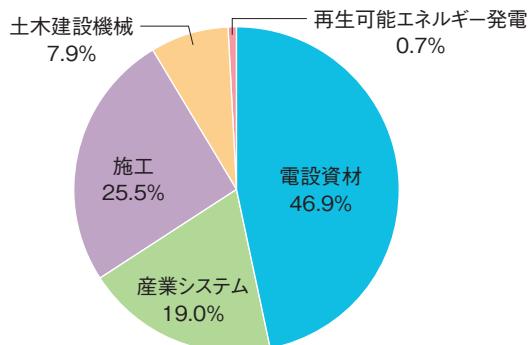
## ■ キャッシュ・フロー計算書の要旨 (連結) (単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	当第2四半期 (平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)	前 期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,824	1,609	2,499
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 121	△ 172	△ 264
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 244	△ 366	△ 421
現金及び現金同等物の 増・減 (△) 額	1,458	1,070	1,813
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	10,813	12,626	10,813
現金及び現金同等物の 四半期末 (期末) 残高	12,272	13,697	12,626

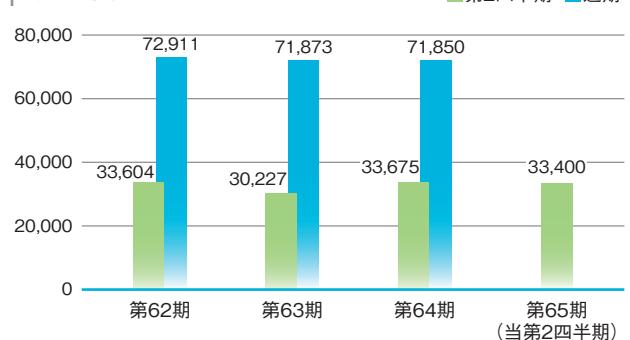
## ■ セグメント別売上高 (連結) (単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	当第2四半期 (平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで)	前 期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
電 設 資 材	15,841	15,648	34,187
産業システム	6,015	6,348	13,295
施 工	8,684	8,517	18,282
土木建設機械	2,892	2,645	5,655
再生可能エネルギー発電	241	240	429
合 計	33,675	33,400	71,850

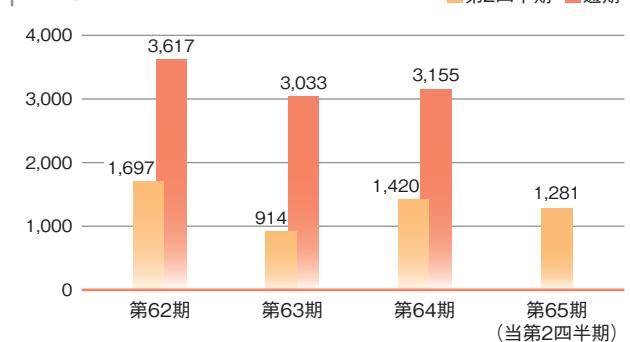
### 売上高構成比 (当第2四半期)



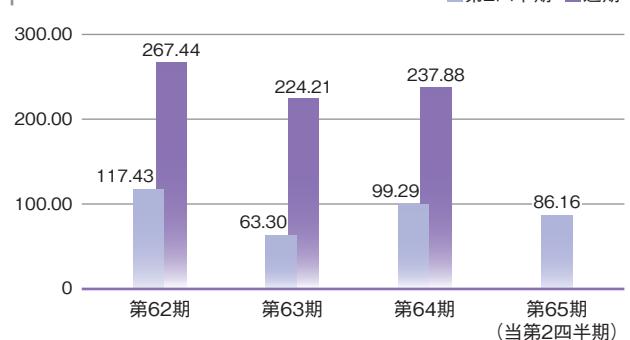
### 売上高 (百万円)



### 経常利益 (百万円)



### 1株当たり当期純利益 (円)



## ■ 会社概要 (平成30年9月30日現在)

商号	藤井産業株式会社 (Fujii Sangyo Corporation)
本社	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地41番地3 ☎028-662-6060 (代表)
URL	http://www.fujii.co.jp
設立年月日	昭和30年12月27日
資本金	1,883百万円
従業員数	701名 (契約・パート163名)

## ■ 株式の概要 (平成30年9月30日現在)

発行済株式総数	10,010,000株
1単元の株式数	100株
株主数	1,064名

## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	毎年6月に開催 3月31日
株主名簿管理人及び特別口座口座管理機関事務取扱場所	その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていた必要があります。

## 公告方法 電子公告 (http://www.fujii.co.jp)

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

## 上場株式配当等の支払に関する通知書について

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

## ホームページのご案内

<http://www.fujii.co.jp>

当社ホームページは企業情報はもちろん、最新のIR情報がご覧になれます。ぜひアクセスしてください。



トップページ



IRページ